

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
作成 平成18年4月2日

化学物質等のコード : 0115-7136

化学物質等の名称 : 臭化アルミニウム, 無水

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 腐蝕性物質
危険性 : データなし
有害性 : 湿気、水に接触すると多量の熱を発生し有毒で腐食性のある臭化水素酸を生成する。眼、鼻、のど、皮膚を刺激し、接触すると薬傷を起こす。吸入又は経口摂取する、呼吸器、食道の粘膜を刺激し炎症・穿孔を起こす恐れがある。繰り返し暴露すると歯牙酸食症、胃腸障害、酸血症などが起こる。
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 :
化学名又は一般名 : 臭化アルミニウム, 無水
成分及び含有量 : 97%以上
化学式または構造式 : $AlBr_3$
危険、有害成分 :
分子量 : 266.69
官報公示整理番号(化審法) : 1-19
CAS No. : 7727-15-3

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
吸入した場合 新鮮な空気の場所に移し、重曹水でうがいをさせ安静保温に努め、医師の手当を受ける。
皮膚にふれた場合 汚染した衣類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とし、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 直ちに大量の牛乳を飲ませて吐かせた後、重曹水を飲ませて、医師の手当を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 本品は不燃性であるが、火災の熱により分解し有毒な臭素、臭化水素ガスを発生する。周辺火災の場合、火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する(放水はしない)。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。消火作業は風上から行い、必ず呼吸保護具を着用する。
消火剤 ドライケミカル、炭酸ガス、泡

6.漏出時の措置

水、湿気に接触しないよう速やかに空容器に回収し、そのあとを消石灰又はソーダ灰を撒き、多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意
・乾燥した場所で取り扱う。
・加水分解によって発生するHBrのため容器の内圧が高くなることがあるので、開栓する時はよく冷却し、保護眼鏡、保護手袋等を着用する。
・発煙性及び刺激性が強いため、吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、局所排気装置のあ

- ・るところで使用する。
- ・使用後は容器を密封する。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

保管上の注意

- ・容器は直射日光を避け、乾燥した冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 データなし

許容濃度

ACGIH(TLV) : TWA 2mg(Al)/m3

設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
- ・取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

- ・状況に応じ、酸性ガス用防毒マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観形状特性 白～灰白色の結晶又は結晶性粉末
 比重 3.01(25℃)
 引火点 データなし
 発火点 データなし
 爆発範囲(爆発限界) データなし
 融点 97.5
 沸点 265
 溶解度 水と接触すると分解。アルコール、エーテルに可溶。
 蒸気圧 データなし
 蒸気密度 データなし
 密度 データなし
 pH及びその濃度 データなし
 分解温度 データなし
 オクタノール/水分配係数 データなし
 その他 データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 水と爆発的に反応して多量の熱を発生して臭化水素酸を生じる。吸湿性が極めて強く、空気中で発煙する。潮解性がある。
 自己反応性・爆発性 データなし
 自己反応性 データなし
 混合危険性 データなし
 避けるべき条件 データなし
 危険、有害な分解生成物 データなし
 その他 データなし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性
 急性毒性 データなし
 亜急性毒性 データなし
 慢性毒性 データなし
 刺激性(皮膚、眼) : データなし
 感作性 : データなし
 変異原性 : データなし
 変異原性(微生物、染色体異常) : データなし
 皮膚腐蝕性 : データなし
 がん原性 : データなし
 生殖毒性 : データなし
 催奇形性 : データなし
 暴露による影響(単回、反復、連続) : データなし
 その他 : データなし
 その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む) : データなし

12. 環境影響情報

分解性 : データなし
 蓄積性 : データなし
 魚毒性 : データなし
 その他 :

13.廃棄上の注意

中和法 過剰の水に少量ずつ投入し分解する。生成した臭化水素酸はソーダ灰の水溶液中で中和して排水する。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

輸送に関する国際規制

陸上輸送 : データなし
海上輸送 : データなし
航空輸送 : データなし
国連分類番号 : クラス8(腐蝕性物質 PG 2)
国連番号 : 1725

15.適用法令

労働安全衛生法 第57条の2(令第18条の2)名称等を通知すべき有害物
No.37
毒物及び劇物取締法 該当なし
消防法 該当なし
危険物船舶運送及び貯蔵規則 腐しよく性物質
PRTR法 該当なし

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共立出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。